

スクールロイヤーと一緒に考えた指導案 中学校 道徳

中学校 学習指導略案 (例)

- 1 題材名 「いじめについて考えよう～SNSの事例を通じて～」
(※道徳で行う場合は 価値項目 B 主として人との関わりに関すること「相互理解・寛容」)
- 2 ねらい ・相手の気持ちを考えて、言葉を選んだり、行動したりしようとする。
- 3 本時の展開例 (50分)

| | 学習活動 | ○主な発問 ◎生徒の活動 ※予想される生徒の反応 | 指導上の留意点など ○留意点 ◇パワーポイントページ |
|-----------|--------------------------|--|--|
| 導入 5分 | 1 SNSについて知る。 | ○SNSを知っていますか。(5分) ※LINE, Instagram, Facebookなどのこと。 ※コミュニケーションのアプリのことかな。 | ○SNSを利用していない生徒もいるので、簡単に確認する。 ◇資料1～2 |
| 展開 40分 | 2 SNSのトラブルについて、みんなで考えよう。 | ◎仙台中学校2年3組の出来事を確認する。(5分) ※よくあることだな。 ※似たようなことが野外活動の時にあった。 ※退会させたのではないか。 ○SNSのやり取りについて、グループで話し合しましょう。 ◎2年3組のやり取りを見て、トラブルの原因についてグループ内で話し合う。(15分) ※えりかさんは、事前に5人のうちの誰かに相談すべきだったのではないか。 ※さとしさんとたけしさんは、かんなさんに同調せずに対応することができたのではないか。 ※会って話をすべきだったのではないか。 ※かすみさんはSNSだけで解決しようとしなない。 ※かんなさんたちは言い方を考えるべきだった。 ※正しいことを提案した人の意見を尊重すべきだったのではないか。 ◎話し合った内容をグループごとに発表する。(5分) ○このようなトラブルを起こさないために、自分たちならどのようにメールを送るかを考えましょう。 ◎トラブルにならないメールのやりとりを、グループごとに考えましょう。(10分) ※言葉遣いには注意したほうがいい。 ※相手のことを考えた言葉にしよう。 ※気持ちが伝わりにくいので、絵文字を入れてみよう。 ※どうして他の班に入るようになったのか、理由を聞いてみることも必要だと思う。 ※文字だけで気持ちの部分伝えるのは難しい。 ◎グループごとに発表する。(5分) | ◇資料3～資料5 ○最終的な結果を知る前に、どうなったのかを考えさせる。 ◇資料6 ○原因だけでなく、自分たちができることを考えさせてもよい。 ○一つか二つの意見を発表させる。 ◇資料7 ○資料の右側の部分について考えさせる。 ○いくつかのグループに発表させる。 |
| まとめ 5分 | 3 まとめの話聴く。 | ○SNSでのトラブルを防ぐためには、どんなことに注意しなければならないだろうか。(5分) ◎どんな点に注意しなければならないかを発表する。 ※相手の気持ちを考えてメッセージを送る。 ※直接会って気持ちを伝える。 ※メッセージは一度送ると消えないので注意する。 | ◇資料8 |

4 評価

- ・相手のことを考えた言葉遣いや行動が大切だということを理解する。(道徳の場合)
- ・相手のことを考えた言葉遣いや行動が大切だということを話し合う場を十分に作る事ができたか。

5 準備物

テレビ(プロジェクター) パソコン パワーポイント資料 ワークシート